



園児たちの地震体験

8月25日、五加保育園と越原保育園へ岐阜県消防本部から地震体験車が訪れ、園児たちが関東大震災クラスの地震を体験しました。

体験車に乗り込んだ園児たち机の下にもぐり込み、揺れ始めると怖がるどころか、揺れが大きくなればなるほど大喜び…。

この日五加では祖父母参観日、越原はプール参観日。おじいちゃんやおばあちゃん、お母さんたちとのふれあい体験となりました。



越原保育園



五加保育園

広報

1994
平成6年

9 No.399

ひがししらかわ

人口の動き

—8月末住民登録人口から—
世帯数……………907世帯
人口……………3,415人
転入……………8人
転出……………2人
出生……………0人
死亡……………1人
先月と比較して5人増
昨年同月と比較して27人減

生きがいを持って 健やかに老いる

人は、誰でも生まれた時から一つ一つ年齢

を重ねていきます。その年齢にふさわしく

生きがいも数多く重ねたいものです。



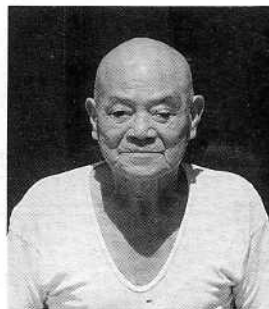
ゲートボールを楽しむ老人クラブ明清会の皆さん

一日一日を大切に
過ごしています



ひ孫のひろちゃんと一緒に
古田千代さん(95)
明治31年12月30日生
(久須見)

読書は欠かしません
特に歴史小説が好き



今井良吉さん(94)
明治33年9月13日生
(神付)

「今日という日は、もう二度と戻ってこないから、その日その日を大切に、楽しく過ごす毎日です」と話してくれたのは久須見の古田千代さん。千代さんは、今年九十六歳になります。

「好き嫌いは、全くありません。特別好きなものといえば、お刺身と鰻ですね。朝も早くから目が覚めますし、外へも出ています。おかげでこの前の血液検査の結果を病院へ聞きに行ったら、どっこも悪いところはない。むしろ血が濃いくらいですよ」といわれたほです。

千代さんの一番の楽しみは、せせらぎ荘へ行くことです。「せせらぎ荘へ行くことが今、一番の楽しみです。家の前まで迎えに来てもらえるし、髪は洗ってもらえるし、行く日が待遠しいくらいですよ」。

「好き嫌いは、全くありません。特に好きなものは、うどんと肉ですね。肉は何でも食べますが、鶏だけは家に変飼つとるもんで食べるのはどうも」と話してくれた今井良吉さんは、この九月に九十四歳になりました。

「子どものころは、兄弟のうちで一番体が弱いといわれたぐらいで、体もやせていましたし。六十歳ぐらいのとき腸の手術をしたら本当に丈夫になりました。体重も一時は、八十四くらいになって、病院で太り過ぎといわれたくらいです」。

とにかく動くことが大好きと話す良吉さん。今でも近くへ出掛けるときには自転車を用いているとか。

「家の中でじっとしているのが一番つらい。今も家で食べる分の野菜は、自分でつくりまします。今朝も蒔いた大根に水をくれたとこですよ。今年は、暑すぎたせいかギネスのネギは残念ながらダメですね。それでも野菜を収穫するときは楽しみですね」。

この野菜づくりと同じくらいの楽しみが読書。これは若いころからの習慣だとか。「特に歴史小説や伝記物は好きです。毎日少しづつ読んでそんなことで夜寝るのは十時くらいになりますね。」

家にいることが一番あんきです



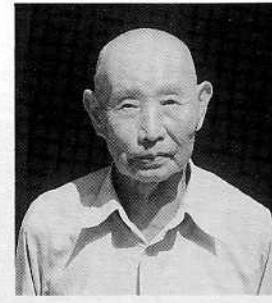
熊崎すゑさん (95)
明治32年6月22日生
(下野)

「若いころ風邪をこじらせて一度肺炎になったことがあります。それから全く医者知らず。肉や魚はほとんど食べないし、青い物(野菜)ばかりですよ。」と話してくれたのは下野の熊崎すゑさん。熊崎さんは、この夏の初めに带状疱疹という病気を患って、本当に何十年かぶりに病気がかかったとか。今は元気に熊崎さんですが、そのときは病気に慣れていないこともあってか、「いよいよおひまをもらう時が来た」と思ったそうです。

「茶摘みのころは、手伝いもできず、病氣してからは、あまり外へ出ず、家の中ばかりです。特別に健康のことなど考えたことはありません。」

せんが、若いころから体が丈夫で、昔は炭を担いで佐見山から富士屋まで二往復くらいしたもんです。おじいさんと二人で苦勞して建てた家にいることが、今一番あんきですな。」

早寝、早起きと体を動かすことが一番



今井倉太さん (93)
明治33年12月8日生
(平)

「とにかく麵類は大好物。特にうどんは大好きで、三日に一回は食べています。」と話してくれたのは平の今井倉太さん。

倉太さんは週に一度のゲートボールと月に一度のせせらぎ荘の日が今一番の楽しみ。「家でじっとしておるとが嫌いで、いつも外へ出て体を動かすようにしています。週一回のゲートボールは、自転車こいで通っています。せせらぎ荘も楽しみます。年寄りの衆とは話ができるし。今は月二回や、もっと増えたらと思います。まめなうちは回数が少なくてもしやないと思っておるようなことです。」

今井さんのモットーは早寝早起きです。「若い時分からの習慣で夜七時に寝て、朝は五時には起きています。特

別健康のことなど考えたことはありません。せんがそれがいいかもしれませぬね。」

いつも自分の歳より若いつもりでいます
お年寄りが元気なら村中が元気



桂川多賀江さん (94)
明治33年1月15日生
(大明神)

「みんな九十四やというけど、もつと若いつもりでおりますよ。」と話してくれたのは、桂川多賀江さん。多賀江さんは、食べるものには好き嫌いが全くなく、牛乳や自家製のトマトジュースも飲まれるとか。「子どもや孫が来て、話相手になってくれたり、痛いところをさすってくれたりしてくれることが一番の楽しみです。近所の年の近い衆はみんな死んでしまつて話相手がおらんようになりましてが、せせらぎ荘へ行くと話相手があるで楽しみですよ。」

「人生八十年時代」といわれる現代。確かに高齢化は切実な問題です。しかし、決して暗い話題ではないと思いませんか。なぜなら、お年寄りが元気ということによりの証となるのですから。」

多賀江さんの日課の一つに、起きるとすぐに般若心経を大きな声で唱えること。

東白川村長寿者名簿

田安古金熊桂田今今田中安土安安上安笹安栗今安	口江田尾崎川尻井口島江江杉江侯江本井江	は正千秀す多賀敏良倉ま禮のと小みき正熊イツ一桂みみつ	る郎代介多賀郎吉太ふよつ江史蔵工一やみつ	さん (99)	さん (97)	さん (95)	さん (95)	さん (94)	さん (94)	さん (93)	さん (93)	さん (93)	さん (93)	さん (92)	さん (92)	さん (91)	さん (91)	さん (91)	さん (91)	さん (91)	さん (90)	さん (90)	さん (90)	さん (90)	さん (89)
谷親久陰下大明神付平大明神本親下大明神平本沢平	田見野神付神付神本田神付山本沢平	中上久陰下大明神付平大明神本親下大明神平本沢平																							

～年齢は平成7年9月1日の満年齢～



朝の部の五介は安江利英さん



同級生バザー「いらっしゃいませ。」



ラジオ体操で今年もスタート



朝市の人気商品は新鮮野菜



ビプロスの楽しいステージ



チャンバラトリオの山根伸介さん



中学生のプラスバンドも活躍



中学生の檜茶太鼓



お馬さんは人気の



野球チームマスターズの輪投げ

'94 ふるさと夏まつり 五介

ふるさと夏まつり ザ・五介'94

新鮮野菜は完売 五介の朝市

東白川村の夏を代表するイベントといえは、何ととっても「ふるさと夏まつり・ザ・五介」でしょう。
今年も八月十四日、朝のラジオ体操から元気にスタートしました。
朝の部の会場となったのは、例年と同じ神土運動場。六時過ぎに行ってみるとまだ眠そうな目をこすりながらも子どもたちが次から次へとやってきます。今年の朝の部で五介にふんじたのは、安江利英さん（上親田）。おなじみのふん装で子どもたちの前に立って体操のおにいさん役です。

体操を終えた子どもたち、体操カードに五介シールを貼ってもらおうと輪投げなどのゲームや恒例の「お馬さんに乗ろう」のコーナーに列を作りました。子どもたちの楽しみがゲームや馬ならお母さんたちのお楽しみは「朝市」です。採れたての新鮮野菜はわずかの間に完売。朝の部は、あつという間の二時間でした。

庁舎完成を記念して

役場前がメイン会場

今年夜の部のメイン会場となったの



は、役場前駐車場。これは、スタッフの皆さんが考えぬいた末、「役場が新しくできた記念すべき年だから役場前でやろう」と決めたものです。
開場となったのは午後四時。三時をまわったところから少しづつ人が集まり始め、五時ころには人・人・人…。

今年の夜の目玉は、ステージショーです。序盤は中学生による檜茶太鼓とプラスバンドが日ごろの練習の成果を披露し、うす暗くなったところからは、名古屋から来た女の子五人組「ビプロスのステージや若手演歌の水上弥生さんの舞台、メインにチャンバラトリオのリーダー山根伸介さんのショーがあり会場を大いに沸かせてくれました。もうひとつの目玉は、何ととってもバザーです。昨年と同様に一般へ店舗を募集したところ合計十店が開店。中には、同級生バザーが三店舗あるなど

最初で最後?

五加バイパス盆踊り大会

「お世話して下さった家にお礼に
いったら、来年もまたやってくれる
んやろ」とこの家へ
いっても話をして下さ
るくらい大評判で、

と話してくれたのは、
五加バイパス納涼盆踊
り大会実行委員長を務
めた額額英雄さん(柏
本)。

八月十五日、下野集
会場前を会場に盆踊り
大会が開かれ、五百人
を超える皆さんが去り
行く夏を惜しむかのよ
うに踊りの輪を作りました。

「今年が最初で最後」と銘打った
五加地区での盆踊り、これは、来年
からはバイパスが完全に通行可能と
なるため、正確に言えばバイパスで
行う最初で最後とでもいべきでし
ようか。かつて青年団活動が盛んだ
ったころは五加地区でも盆踊りがあ
りましたが、活動が衰退すると同時
に盆踊りも無い状態でした。
毎年行っている五加区民運動会の
慰労会の席で、五加でも盆踊りをや
ろうじゃないか」と若手の間で話が
持ち上がったのがそもそのスター



盛況な販売もサーバ

トだったとか。

「最初、自分たち
の年代より下の
高校生くらいまでの
若手に相談を持ちか
けてたときは、あま
り人数も集まらず心配
していましたが、準備
のころから本当に意欲
的に取り組んでくれて」と
と額額さん。

内容もバザーはもちろん
ん花火あり、ゲームありと
もりだくさん。

反省会でも「来年もぜひ」
という話も出るなど「今年が最初
のイベントとなったようです。」

暑〜い夏にホットな話

記録的な 猛暑

となった今年の夏。

この暑さを吹き飛ばすように

イベントが各地で行われました。

村雲さんが二連覇

ヒガシシラカワズカップ

村の自慢、清流白川のPRに一役
かっている夏の風物詩「鮎かけ」の
村で行われるこの鮎かけの大会の
中の代表ともいえる「ヒガシシラカ
ワズカップ鮎94」が八月七日、平中
河原を会場に行われ、村内外の太公
望たちが腕を競いました。

ふるさと夏まつりの一環として開
催されるこの大会、今年はず選に六
十四名が参加。その中の勝ち残り十
二名と昨年の上位三名のシード選手
で決勝が争われます。

前日に降った雨の影響で、予選開
始のころは白川は一面濁り水。それ
でも上手い人にはかかるもんです。
予選トップの安江竹司さんは三時間

ビールやおつまみはもちろんゲームや
金魚すくいまでと大人から子どもまで
が楽しめるものばかりでした。
青年団体連絡協議会(商工会青年部
農協青年部、林業グループ)が主催し
て行っているこの夏の一大イベント。
今年、いろいろな事情からスタッ
フも減少するなどいわれる「過渡期」
を迎えての決行でした。
今年の来場者、約三千人。スタッフ
の一人がこんな話をしてくれました。
「将来、村を離れた子どもたちが、う
ちの村ではお盆にこんな面白いお祭り
をやっているんだよ」といえるような
ものにしたから続けるんです」と。

で十二匹、予選通過ラインが六匹と
まさに激戦。二時間で争われる決勝
では、前年度の優勝者村雲知巳さん
が見事連覇を成し遂げました。
なお、順位は次のとおり(敬称略)
①村雲知巳(西洞) ②安江竹司(平)
③野村孝(柏本)。

入賞者の皆さん



決算

平成五年度財政事情の公表

35億538万円使いました

この八月一日付けで平成五年度の決算見込みがまとまり、九月に行われる定例議会に提出され、審議、承認を受けます。
わたしたちの村の「台所事情」はどのようになっているのでしょうか。わたしたちの納めた税金はどのように使われているのでしょうか。皆さんに村の財政状況を理解いただき、なお一層村政に関心を深めてもらいたいと思います。

一般会計

村の会計年度は、毎年四月一日から、翌年の三月三十一日までですが、三月末ですべての会計を締めることはできないので、五月末日までを整理期間として決算をまとめます。

平成五年度の一般会計の決算額は、歳入（収入）が三十六億七千八百二十二万円、歳出（支出）が三十五億五千三百八十八万円となり、差し引き一億七千二百八十四万円余の次年度繰越となりました。これは前年度と比べると、歳入で、二二・八割、歳入で最も大きな割合を占め








るのは、所得税、法人税、酒税などを財源に国が地方へ一定の基準で交付する地方交付税です。五年度は、前年対比一・六割増の十三億三千二百八十九万円余が交付され、歳入全体の三六・二割を占めています。
次いで村の借入金である村債が八億九千九百九十九万円と全体の二一・八割となり、前年度に引き続き、こうした地方交付税や村債、県支出金などを含めた「依存財源」が全体の七〇・七割と大きなウェイト

■村に入ってきたお金 歳入総額 36億7,822万円

地方交付税	村債	繰入金	県支出金	その他
13億3,289万円	8億190万円	3億8,609万円	3億3,326万円	3億9,573万円
36.2%	21.8%	10.5%	9.0%	10.9%

村税 2億1,287万円
財産収入 2億1,548万円

■このように使いました 歳出総額 35億538万円

 総務費 14億5,791万円 41.6%	 農林水産業費 6億7,564万円 19.3%	 衛生費 3億2,882万円 9.4%	 民生費 2億9,329万円 8.3%	 公債費 2億7,040万円 7.7%	 土木費 1億7,106万円 4.9%	 教育費 1億6,083万円 4.6%	その他 1億4,743万円 4.2%
---	---	---	---	---	--	---	--------------------------



平成5年度完成の文化施設はなのき会館

特別会計

一般会計とは別に特定の事業など別の経理を持って行うものを特別会計といいます。この特別会計が村には6つあります。

5年度の特別会計は、歳入総額が17億1千万円余、歳出総額が16億9千万円余となり2千万円余の黒字となりました。

会計別にみると「国民健康保険特別会計」は、保険給付費が前年度に比べ15.2割伸びたことなどにより歳出総額で2千4百万円余の増となっています。70歳以上と65歳以上の寝たきりのお年寄りにかかる医療費を取り扱う「老人保健特別会計」は、歳入歳出決算で、926万円余の剰余金が出ました。「有線放送電話特別会計」は、5年度本部交換機器の更新事業を行ったため、予算規模で前年度を大きく上回りました。

平成4年度から設置された「簡易水道特別会計」は、5年度から事業量が大幅に増えてきたため歳入歳出ともに前年度を大きく上回っています。この会計の財源のほとんどは、国や県からの補助金と村債、一般会計からの繰入金で賄われています。

「東白川病院事業会計」は入院のべ患者数ともに増加しており、医業収入で前年度に比べ約13割の増収となりました。

特別会計一覧表

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	2億5,108万円	2億3,472万円
老人保健特別会計	2億8,894万円	2億7,968万円
有線放送電話特別会計	1億1,275万円	1億1,001万円
分収造林費特別会計	292万円	280万円
簡易水道特別会計	6億1,807万円	6億1,509万円
(損益勘定)	4億2,162万円	4億2,810万円
病院事業会計	2,313万円	2,616万円
計	17億1,851万円	16億9,656万円

を占めています。

皆さんから納めていただいた村税は、二億一千二百八十七万円余となり、これは、歳入全体の五・八割、前年度と比べると七・二割の伸びとなりました。

歳入の中で前年度に比べ著しい伸びとなったものに繰入金があります。これは、庁舎建設や、有線放送施設の整備などを借入れをせず、庁舎建設基金などの繰入れによって行ったためです。

歳出は、総務費が十四億五千七百九十万円余となり全体

の四一・六割を占めています。この総務費には、役場庁舎の建設、文化施設

はななき会館の建設といった五年度の「目玉」となる事業が含まれているほか、ハナノキロードの舗装などこれもれびの里整備や、いわゆる「村の貯金」である土地開発基金などの基金積立金があり、前年度に比べ、六〇・一割と著しい伸びとなりました。

次いで、農林水産業費が六億七千五百六十万円余で全体の一九・三割を占めています。村の大切な施策である農業の振興はもちろん、全村公園化構想の推進、県営畑総事業負担金、農村総合整備モデル事業や林道開設、改良事業（三路線）などが含まれています。

衛生費は、簡易水道特別会計への繰り出しを行ったため、前年度に比べ三九・八割と高い伸びになりました。

前年対比三割の増となった民生費は、身体障害者福祉法や老人福祉法などの改正により県から村へ一部事務が移り、この事務量の増加によるものです。

村の借入金の償還金である公債費は、二億七千万円余で全体の七・七割を占め、前年対比三割の伸びとなりました。以下、道路橋梁新設改良費などが含まれる土木費、学校の運営費が主なものとなる教育費、その他消防費、議会費などに使われました。

歴史に残る大事業を行った平成五年は、まさに飛躍の年と呼べるでしょう。

村民一人あたりの村税負担額は六万二千円

皆さんから納めていただいている村税は、二億一千二百万円余。これを税目別に割って、三月末の人口、世帯数で単純に割ったものが左表です。

税目別に村税の割合を見ると、固定資産税が、一億六百万円余で村税全体の五〇割、次いで個人、法人を合わせた村民税が、九千二百万円余で四四割を占めています。

以下、村たばこ税、軽自動車税、特別土地保有税の順になっており、全体で七・二割の伸びとなりました。

この村税などの自主財源は、歳入全体の三割弱となり、財政事情は相変わらず厳しいといわざるをえません。

(単位：円)

税項目	1世帯あたり	1人あたり
村民税	103,278	27,194
固定資産税	117,709	30,994
村たばこ税	9,711	2,557
軽自動車	4,888	1,287
土地保有税	123	32
計	235,709	62,064

※税負担額は、平成6年3月31日末人口で単純に割ったものです。従って法人関係分も含まれています。

おし せ ら

こんにちは 社協です

社協では、年
五回、結婚相談
所を開設し、未
婚の方の相談に
応じています。
9月は開設月。
お気軽にご利用
下さい。

また、「独身
男女の集いの場」
青年フォーラム
を十月中に開催
します。今回は、
長島スパークラ
ンド行きを計画中。
今までこの集い
で理想の相手を見
つけた方もあり
ます。奮って
ご参加下さい。

“大衆味おとし”

コンクールについて

県では、地元の食材を利用
した、観光客に安く提供でき
るような美味しくて大衆的な
料理を募集しています。地域
の個性を生かした千円程度で
提供できる手軽で新しい料理
を創り出して下さい。

可茂地区でのコンクールを
行い、優秀作品を全県下のコ
ンクールへ出品します。

●応募資格/県内に居住さ
れている方ならどなたでも結
構です。プロとアマの部に分
けて応募をお待ちしています。

●応募作品/県内の素材を
利用した大衆料理で、丼物、
麺類、カレーなど主食として
食べるもの。材料費五百円程
度、市販価格千円程度で提供
できるもの。

●応募方法/役場林務商工
課又は可茂県事務所総務課に
ある応募用紙に必要事項記入
のうえ、下五〇五美濃加茂市太
田町三四三一一美濃加茂市
役所商工観光課可茂地域観光

推進協議会 ☎〇五七四(二五)
二一一一まで送付して下さい。

●応募締切/九月三十日

※詳細は、役場林務商工課
振興係(有線五一五五)まで。

国民年金推進月間

が来月から始まりま

毎年十、十一月は「国民年
金制度推進月間」です。

この月間は、国民年金のし
くみを広く県民にお知らせし、
年金制度に対する認識を深め
ていただくことを目的として、
各地で年金相談所や国民年金
の集いなどが催されます。

今や、わが国は人生八十年
代を迎え、世界有数の長寿国
となっております。

このような高齢化社会を迎
えるにあたって、年金制度は
老後における生活設計の柱と
して切り離すことのできない
必要不可欠なものとなってい
ていきます。

大切な年金をいかに理解す
るかが、あなたの老後を支え
ます。この月間中もう一度年
金について考えてみませんか。

自治大臣への提案ファックス

“ふるさとファックス”設置

このたび自治省では、広く
国民の皆さんから地方公共団
体や地方自治に関する制度を
始め、地方税、地方財政、選
挙制度、地方公務員、消防、
ふるさとづくりへ向けた地域
活性化等、地域行政に対する
自治大臣への積極的な提言を
いただくため、「自治大臣への
提案ファックス」をふるさと
ファックスを設置しました。
皆さんからの意見を直接聴
く試みは、国民の声を行政に
反映するためにも意義深いも
のですから、どうぞ積極的な
ご提言をお願いします。

☆ふるさとファックス

【ファックス番号】〇三(三
五八一)六九八七

【受付時間】午前九時～午後
六時(土、日、祝日を除く)

※できれば、住所、氏名、電
話番号をご記入下さい。

【照会先】自治大臣官房広報
室 ☎〇三(三五九一)〇二
七九まで。



郷土歌舞伎公演

●とき / 9月25日(日)

午後7:00

●とこ / はなのき会館

保健婦だより

生きがいを
持つて

元気な毎日

長く生きれば

「老い」は誰に

でも平等にやつ

てくるもの。

ボケを予防し、健やかな老後を迎えるには、日々の健康管理と家族みんなの思いやりがキーポイントとなりま

- ① 積極的に外出する。
 - ② バランスのとれた栄養を。
 - ③ 適度な運動を続ける。
 - ④ 病気は早めに受診する。
 - ⑤ 役割を持つ。
 - ⑥ 趣味を持つ。
- ことが大切です。

「自賠責」小さなシールで大きな安心

小さなバイクだからといって、油断は禁物。バイクの起こす人身事故も軽視できません。無保険（無共済）で死傷事故でも起こしたら、それこそ大変です。

バイクにも自賠責保険（共済）への加入が法律で義務づけられており、無保険（無共済）で走ると、六か月以下の懲役または五万円以下の罰金、さらに違反点数六点となり、免許処分になります。

今月は、全国一斉に「無保険（無共済）バイクを無くそうキャンペーン」が実施されています。

バイクには、車検制度がないこともあって、自賠責保険（共済）の継続契約をいつ忘れがちです。この機会に、もし契約切れになっていたら、最寄りの損害保険会社、代理店（バイク店、自転車店など）または農協へどうぞ。

『国の教育ローン』の案内

国民金融公庫では、高校や大学などに入学・在学されるお子さんをお持ちの皆さんに

対して『国の教育ローン』を取り扱っています。

【対象者】大学、短大、専修学校、高校、各種学校に入学、在学されるお子さんをお持ちの保護者の方。

【融資額】一五〇万円以内

※学生・生徒一人につき

【返済期間】八年以内

※据置期間は在学期間以内（最長四年）

【利率】年四・四割（平成六年八月一日現在）

【返済方法】毎月元利均等返済（ボーナス月増額返済可）

【保証】助教育資金融資保証基金または保証人（1名以上）

※詳細は、国民金融公庫多治見支店 ☎〇五七二（二二）六三四一まで。

岐阜県農業大学校

七年度学生募集

県下唯一の農業自営者要請機関であり、その卒業生が各地域農業の中核となって活躍している県農業大学校（可児市坂戸）では、二十一世紀の地域農業を担う平成七年度の入学を募集しています。詳細は、農業大学校 ☎五七四（六二）一二二六、または、最寄りの農業改良普及所にお問い合わせ下さい。

今月は「障害者雇用促進月間」です

労働省では、九月を「障害者雇用促進月間」と定め、障害者の雇用促進のためさまざまな活動を展開しています。

障害のある人が、自然な形で社会参加できる優しい街づくりをみんなで進めましょう。

「社長も社員もそろって安心」労働保険

「労働保険、働く皆のサポート」。

雇用保険と労災保険とを総称した労働保険は、失業や業

務災害などから労働者、事業主の方々を保護する制度です。十月は、「労働保険摘要促進月間」です。

労働保険は、法律上加入が義務付けられていますので、一人でも従業員を雇用している事業主で、未加入の方は今すぐ手続きして下さい。

また、一週間の所定労働時間が、二〇時間以上のパートタイム労働者の方も、一定の要件を満たせば雇用保険の被保険者となります。

詳しくは、ハローワーク美濃加茂（美濃加茂公共職業安定所）へお尋ね下さい。

けいじばん

【戸籍】（敬称略）

●おくやみ申し上げます

安江 延生 90歳（日向）

【善意】

（敬称略）

【保健センター備品購入指定】

現金70万円＝桂川 直衛（栃山）

【社会福祉施設整備指定】

現金21,734円＝東白川 G.C. コンベ事務局

【社会福祉協議会へ】

現金10万円＝安江 末男（日向）

現金132,880円＝山田土建(株)従業員一同(不用品バザー)

【東白川中学校へ】

飲み茶25⁺＝東白川茶業振興会

【神土保育園へ】

ぬり絵50冊＝今井文雄（大明神）

【越原保育園へ】

飲み茶10⁺＝東白川茶業振興会

焼肉用鉄板＝本郷工作所（陰地）

【五加保育園へ】

飲み茶10⁺＝東白川茶業振興会

TOPICS

学ぶ

「障害者の人って大変だ」
中学生の貴重な体験



点字講座のようす

八月十一日、ボランティアスクールが行われ、中学生十七人が参加しました。社会福祉協議会が主催するこの講座は、今年三回目。今回は「お互いが互いの目になり足になり」をテーマに盲目の人や足の不自由な人がどんな不安を抱いているか、障害者のためにできることは何かを考えようというものです。午前中、実際に車イスやアイマスク（目隠し）を付け、役場内を移動する体験。続いて、白川町点字サークル「デコボコ会」の皆さんによる「点字講座」。午後からは、せせらぎ荘の見学と利用者との交流というハードメニュー。最後に行われたグループ討議には、「身障者のことを考えた施設がもっと必要」、「障害者の人たちはすごく努力している」などの意見が出され、有意義な試みとなったようです。

また、参加者中、三年連続は、今井和直さんと安江智美さんの二人でした。



あよっとしたこう配も一苦労

集う

「あんたどこの人やね」
から始まった両村人会交流会

「ふるさと」のなまり懐かし交流会。お盆の里帰りを機に東京東白川クラブと中京村人会の皆さんを交え、村の議会や各種団体の皆さんとの交流を行う「里帰り交流会」。今年、はなのき会館を会場に八月十四日行われ、東京から七人、中京から二十一人をお迎えしました。



はなのき会館で記念撮影

今年の参加者の皆さんの一番の楽しみは、何といってもこの春できた「役場庁舎」と「はなのき会館」です。中でもはなのき会館は、今まで村に無かった文化施設だけに「立派な施設になった」と感激ぶりもひとしお。また、「平和祈念館」もオープンより一日早く特別見学されるなど新しい施設には注目が集まったようです。施設見学に続いて、行われた交流パーティーでは、年齢や住む所こそ違え、そこは村の出身者ばかり、あちらこちらでふるさと談義に花が咲いていました。

打つ

取りも取ったり96点
一般男子平東チーム

「炎天下の猛打ショー」。八月二十八日（日）恒例の「村民親睦ソフトボール大会」が、総合運動場、小学校校庭の二会場で行われ、三部門に二二チーム、二三〇人を超える選手の皆さんが参加「熱戦」を展開しました。

今大会でひときわ目をひいたのは、一般男子の部優勝の平東チームの猛打でしょう。決勝までの三試合に七十七点を取り、決勝親田戦でも十九点をあげ、四試合で実に九十六点、一試合平均二十四点と底力を遺憾なく発揮しました。四連覇がかかった昨年決勝まで進みながら、涙を飲んだ経験がバネになったのかもしれない。なお、大会の結果は、次のとおりです。

- 【一般男子の部】
- 優勝—平東
- 二位—親田
- 三位—小中
- 教員・五加
- B
- 【壮年男子の部】
- 優勝—陰地
- 二位—平東
- 三位—黒淵
- 栃山
- 【女子の部】
- 優勝—黒淵
- 栃山・二位
- 大明神



一般男子決勝戦 スコアに注目

話題集まれ!

知る

“平均年齢21歳”
フレッシュパック'94

今年、村内に就業した人、村在住で新たに就業した人を対象にして開催している、新規就業者研修フレッシュパック。今年もこもれびの館などで八月二十六日から二日間行われました。

今回の参加者は、男性六人、女性九人の合計十五人。この内、村外の人で村内に勤める人が五人。この形態を見るだけでも若者の定着ぶりや就業状況をかいま見ることができそうです。

内容は、初日午前中、商工会館で村長から村の現況や将来展望の説明の後、新しい施設を中心にはなのき会館や水源地などの村内巡りを実施。村外の人よりもより村内の人でも初めてという人がほとんど。感想も「村の良い所を残しつつ、新しい試みがなされている」「自然を大切にしている」など好評でした。

午後からは、昨年同様NTTテレメイト梅田明子先生による電話の応対や敬語の使い方など応対マナーの研修。また、夕食には長寿膳の試食と社会人としての心構えなど身近な内容からふるさと体感までそろった研修になりました。



水道浄水場を見学する参加者

探る

捕獲は失敗!でも手ごたえは…
国際基督教大生の探索記



熱弁をふるう溝部さん(左)

今年のうちこの探索大作戦に国際基督教大学の学生がイベントに参加したことはお伝えしましたが、彼らが八月十日から三週間、村に滞在しつつこの探索を行いました。

この学生たちは、国際基督教大学の探検ケーピングクラブの面々。このクラブでは、これまでに無人島での生活体験などの活動をしているようですが、春に初めて村を訪れた際、つちのこの魅力に染まってしまったとのこと。

今回の探索は、ねずみをおとりにした捕獲器(かご)を三十個作成し、村内の目撃場所、五か所に設置。五人のメンバーが交替で三人が村に在中し、このわなを点検し続けたものです。

今回の探索を打ち切って帰省する前日の八月三十日には、伝承の館で榎の子探そう会の皆さんを前に成果を発表。代表の溝部暁良さんは、「捕獲は出来なかったが、ねずみのかじられ方で変わったものがあり、手ごたえはあった。また必ず来ます」と話してくれました。

作る

夏休みお母さんと
いっしょに楽しい料理



恐る恐る包丁を使って…

夏休みも終わりに近づいた八月二十日、中学校調理室で「母子のお料理教室」が行われ、親子合わせて三十人が参加しました。

この教室は、食生活改善連絡協議会が主催して、毎年夏休みに行っているものです。

今年のメニューは、

洋風ちらし寿司、かき玉汁、豚肉のレタスあえ、モザイクパフェ、ヘルシードーナツの五品目。

いつもは台所に立つ機会が、ほとんどない子どもたち。見ているとこの日の先生であるお母さんたちの指導を受けながら、恐る恐る包丁を使う子や揚げ物に挑戦する子などその眼差しは真剣そのもの。

ひととおり料理ができる

とそれぞれの力作で楽しい夕食会。自分たちが手を加え、苦労して作った料理の味は、夏休み一番の思い出になったことでしょう。



“ガスの扱いは気をつけて…”



ふるさと夏まつりより

今月の笑顔さん

みんなが公園…のよつたなページ

「二年目もよろしくお願いします」

AET (英語指導助手)

クリストファー・サイスキー・アナルー

九月、菊月、初秋、敬老の日。高齡化比率などそつちのけで今月は元氣な長寿者へのアンケートをのぞいてみました。

好きな食物、一位「うなぎや刺身。二位「野菜、三位「肉。」

思い出の歌、一位「青い山脈。二位「軍歌。三位「愛染かつら。

本や雑誌を読みますか「読む八〇%。外出しますか「する八十二%、異性への関心がありま

すか「ある三十%、少しある四十%。

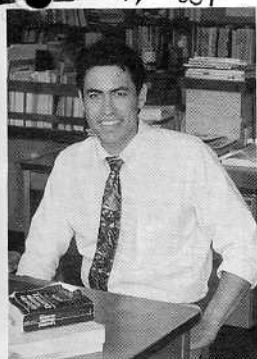
心の健康法は、一位「よくよくよしない。二位「おしゃれで気持ち若く。生きがいは、一位趣味を持つ。二位「頭を使う。

そうだとみななナットクする結果でした。お年寄りの皆さんも若く生きましよう。

夜長月、月見月、台風一過。

お便り

一年間を本当に楽しく過ごしました。そして、二年目も楽しく過ごせると確信しています。



クリス先生



職場から

おやだ木工 毎年、岐阜県東京事務所が行う「観光センター」調査の呉売れ筋特産品ベストテンに顔を出す神棚

今月は、この神棚生産を行っている上親田のおやだ木工(代表大坪正信さん)を訪ねました。

現在、家族の方以外に六人の従業員を使っているおやだ木工では、村内の製材所から届く材料を乾燥させ、部品を加工し、組み立てて製品にしています。

年間に作られる神棚は、大小合わせて約一万个。名古屋市へ出荷され、そこから全国へと出ていきます。特に神棚がたくさん売れるのは、お正月前の時期とか。この十月ころからは売り上げ数も伸びてくるとのこと。これからの時期から仕事は急ピッチです。



▶安江保博くん (敏さん・千登勢さん 三男「黒潮」)



▶田口亜希ちゃん (正昭さん・江里子さん 長女「平」)

2 ツーショット 新婚さん



村雲和裕さん・邦子さん(平)

「九月十五日に結婚式。今月のツーショットは、新婚はやほやお二人、平の村雲和裕さん・邦子さんご夫妻です。」

ふるさと企画にお勤めのご主人とこの八月まで役場に勤めていた奥さんですが、仕事で一緒になることはあっても最初は、ほとんど意識することもなかったとか。

お互い友達どおしで何回か付き合いをしているうちに二人の交際へと発展したようです。交際が始まって九か月でゴールインという

お二人「一緒にいて気兼ねしないし、とても自然な形だったんです」というご主人に「最初はとても信じられなかったけど、付き合っていくうちにだんだんと優しさに触れて」と奥さん。今年初詣に二人で熱田神宮をお参りして急速に結婚への気持ちが変わったとか。

「家が一番といわれるくらい明るい笑顔を絶えない家庭を作っていききたい」と話してくれたお二人、お子さんは男の子と女の子二人がご希望だそうです。

今月のことば

「こんなに淋しい所、やめようか」と言ったら、洋平は「お母さん、風の音が違うよ、土の色も、落ちてる石も違う。ここがいい、決めた」と言うんです。(神岡町へ山村留学の母と子の会話より)



「谷川に沿って、曲がりくねった坂道が北へ延び、鳥屋峠を経て、白川町佐見有本へ通じる。文字通りこの地形からとつたもの(ふるさとのことばより)」。地形が地名の由来といわれている曲坂。

この曲坂地区に一昨年「鶴橋」ができました。この橋の名は、この地区の地名、鶴越から付けられたものです。源平合戦の「鶴越えの坂落とし」の古戦場に似ているところからこの地名がついたとのこと。



曲坂の不動滝

図書室発・あなたへ

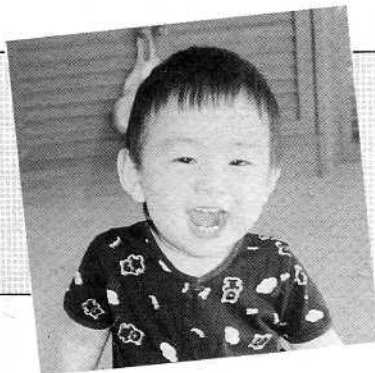
奇食に見えて、しかし、奇食など世界には一つとしてない。行く先々にももの食う人々がいて、いまそれを食うことの十二分な理由と、食うことと食えないことにかかわる知られざるドラマを持っていった芥川賞作家の著者が、世界の飢餓線上をさまよって現代報道の壁を貫いた世紀末の食の黙示録です。



「もの食う人々」 辺見庸著



わが家のスター

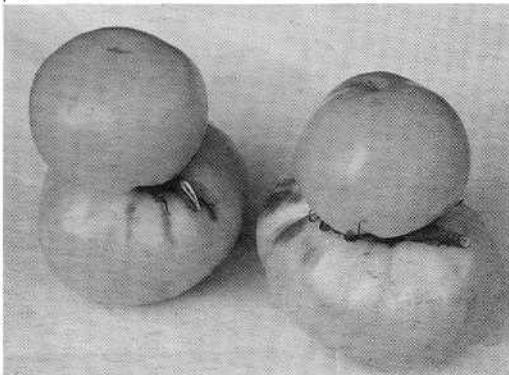


▶安江祐哉くん
(正悟さん・滝子さん
長男 下親田)

ホットアングル



トマトの双子、いやいや4つ子、このトマト、柏本の栗本勝也さん宅でできたもの。2つがくっついてできるものはよく見かけますが、1本の木に4つというのは、まさに珍品。今年の猛暑の影響かもしれませんね。



ほそぼそと岩を伝わる落ち水にトマト打たせて下刈り始む安江 香

○庭先ののうぜんかずら花咲けば思い新たなり亡妻の命日 安江 化平

○疾く起き紫深き茄子挽げばキュキュと鳴りつつ籠により合う 安江 澄

○西日さす墓前に今年の暑さ言ひ夫を憶べり十二年過ぐ 今井 かな

○若き日の姉の使いしボタン刷毛思はせて匂ふ白粉花は 三戸 きり

○窓越しに見えて杜のさるすべり屋根の間に紅鮮やけし 安江 龍玉

○むし暑き夜の花畑に夕顔のおぼろに白し大輪の花 早瀬 久子

○鈴虫の声しきりなる橋の上夜露にぬれて流星を待つ 安江とくよ

(八月十二日ベルセウス流星群の夜)

水割りの水溶け初め含みたる琥珀の酒の甘き香に酔ふ 小林 道子

○スナップの記念写真に呼び止めし中国青年姿勢を正す 若井のぶ

富士山を遙かに望む芦の湖に孫と戯れしを憩う 安江 順子

まばらなる螢を追いて夜を歩く老いの数減り人の世憶う 安江 守平

○地を焦す程の猛夏も岩清水枯れる事なく我が家を潤す 菊田 清美

○島の狂ふほどの暑さに何処にも出たくない家の事だけをして 安江すみよ

○鳥より夫の呼ぶ声に目覚れば白きベットの夜半のまぼろし田口かずみ

紅く染みし梅干し挙げて娘等に白川茶に添へ今日荷造りぬ伊藤 美枝

ビルの影朝は四十五度昼は直ぐ三時は斜にかく一日過ぐ 伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。

発表 わたしの作品



▲「およげるようになったよ」
神土保育園
むらくもえりかちゃん(神付)



▲「およげるようになったよ」
神土保育園
やすえあやちゃん
(神付)



▲「ポスター」
東白川小学校5年生
安江 優さん(下親田)



▲「スリッパ」
東白川小学校2年生
安江尚也さん(黒淵)



▲「家」東白川中学校3年生
今井貴将さん(宮代)



▲「クッション」東白川中学校3年生
安江智美さん(陰地)

うことで、何年かぶりに里帰りをした友、村の中でも久しぶりに顔を合わせた友、解放感の中で交わした会話は心地良い余韻を残す。▼反面、日ごろ親しくしている人が来ていないことも気になる。今日の昼間会ったのに！。そういえば昨年も見なかつたな。ま、いいか義務じゃないから。▼多様化した社会は昔ながら指折り数えて待たたいいくつかの季節折々の行事や祭日を非常に味気ないものとし、大人はともかくも、子供でさえわくわくして待つ心を失いかけています。▼ものの豊かさから心の豊かさへ。充実したイベントの裏方さんに拍手を贈ろう。(T)



今年の夏も
八月十三日から十五日にかけて、平商工

広報ひがししらかわ 9月号 '94.9.15 発行 東白川村役場 ☎05747(8)3111 岐阜県加茂郡東白川村神土548 編集 企画財政課 企画財政係 印刷 下呂印刷株式会社